

紅葉と富士の石割山



私の故郷は広島、富士山へのあこがれは半端ではない。“素晴らしい”の一言

今春に引き続き、秋の山中湖畔に一泊、11月9日、男女7人、東松山駅に集合。天候もよく、車は関越道、圏央道、中央道と快適に進む。箸が転んでも笑うシルバー達？車内はいつものように笑い声満開。今回の、レンタカーのカーナビ、如何したものか、とんでもない方へ案内してくれる。途中で引き返し、山中湖畔の石割山登山口については正午前。



え！400段も？

準備を整え、12時10分いざ石割山《1413m》登山開始。最初の第一歩は、403段の階段から始まる。これが結構きつい。途中の石割神社で食事にする。小さな祠の上に、名前の由来となった二つに割れた巨大な岩がある。この60センチ強の割れ目を3度回ると願い事がかなうとか。何を願ってか、皆わいわいとお腹を引っ込めやっとなり抜ける。



メタボが邪魔してる

石割神社から頂上までは、急な登りに木の根っこ、岩等で息が上がり声もなし。14時20分、頂上につく。



一同富士を背に にっこり

思わず、バンザーイと声の出るほどの
‘ 絶景 ‘ 無風の暖かい山頂
雲一つない富士の全景、眼下には
山中湖、
青い空に、まばゆい太陽。この暖かな
お日さまと富士山に包まれ、
昼寝をしたいと思うほど。
下山の刻、もう一度バンザーイと
後ろ髪を引かれる。.
周りの紅葉を楽しみながら
無時16時下山口に。

17時宿につくき、ゆっくりと美味しい食事とお風呂、部屋でのお茶飲み会、明日に備えて解散は11時。

翌朝、窓の外は真っ赤な紅葉と富士山、と太陽。
朝の香り高いコーヒーを戴いた後は、
山中湖畔の紅葉祭り、パノラマ台へ向かう。
カーナビは今日もご機嫌悪く、
とんでもないところに案内してくれる。
引き返し着いたパノラマ台は、
声も出ないほどの、素晴らしさ。
日本の誇り富士山の雄大さと山中湖との
自然美にただただ感嘆。
次に、河口湖に回る。
見学の前にまず腹ごしらえ。
山梨と言えば「ほうとう」でしょう。食べた！食べた！腹いっぱいと言うより二食分、今晚は夕食無し？食事の後は、河口湖畔の紅葉回廊を歩く。
言葉を探しかねるほどの美しさ。



歳を重ね、なお食べ盛り軍団



“絶景の 富士の裾野に 紅葉舞う”

今回のVIVOは日本一の富士山と、秋の紅葉にそっくり囲まれての二日間でした。
15時前には河口湖を立ち、17時過ぎに無事東松山につく。

私達メンバーに焦燥感と笑いをくれたカーナビ、如何か東松山近くになると、正常になる。 急遽、参加できなかったメンバーといつもの店で合流、

反省会と次回の取り決め等をする。
矢張り、ほうとうの腹にすんなり
食事が入る。
無時解散。
又又楽しいVIVOの旅でした。

**「ユニークなメンバー達に、
沢山の笑いを貰いました」**

記事 : 吉本
写真 : 我妻

